



4年ぶり開催 白石市民児協定期総会

白石市民生委員児童委員協議会定期総会が5月12日(金)、白石市中央公民館大ホールであり、民生委員・児童委員96人が出席しました。本年度の事業計画など6議案を承認しました。

総会後の団結式では、民生委員制度創設100周年活動強化方策である民生委員・児童委員活動スローガンの「支えあう 住みよい社会 地域から」を宣言しました。

社会福祉協議会とは

地域のお子さんから高齢者の方まで、みなさんが生涯を通して安心して暮らせるよう、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業などを行う法人です。

主な内容

- 令和4年度 事業報告および収支決算……………2・3P
- 介護保険事業……………4P
- 共同募金委員会だより 5P
- まちしるべ……………6P
- 小学校入学応援事業、白石市ボランティア連絡協議会研修会、高齢者等地域ささえ愛互助活動、地域福祉活動計画策定について……………7P
- お知らせ……………8P



令和4年度 事業報告および収支決算

事業報告

「誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられる地域づくり」実現のため、さまざまな福祉事業を実施しました。そのうちの主な事業を次のとおりご報告いたします。

たくさんのご支援、ご協力ありがとうございました。

●法人運営事業

市の6か月育児相談で絵本を贈呈する『ブックスタート事業』。抱っこのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを赤ちゃんに届けます。

合計126冊を贈呈しました。



●共同募金事業

■福祉体験学習

市内の小・中学校を対象に、白杖や車いす、パラスポーツなどの体験を通して、人を思いやる心や想像力、福祉への関心を高め、身近なものとして感じてもらうための取り組みへの支援を行いました。

■ふれあいサロン

コロナ禍でも高齢者の社会的孤立・運動機能低下を防ぐため、運営経費などの支援やレクリエーション用具の貸し出しを行い、市民同士の仲間づくりや、支え合いのきっかけづくりの場となれるよう、地域のみなさんと一緒に取り組みました。

●やまぶき園管理運営事業

心身に障がいのある方の社会参加促進を図るために、1日平均15人の通所者に事業所から作業の委託を受けたタオルのたたみ方や箱折りなどの作業指導や生活訓練を行いました。

●緊急援護事業

困窮世帯の生活の安定と自立支援のため、必要な世帯に応急小口資金15件の貸付を行いました。

●地域福祉推進事業

■生活福祉資金の新型コロナウイルス特例貸付（令和4年9月末終了）

宮城県社協からの委託を受け、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業などにより収入が減り、日常生活の維持が難しくなった世帯へ、緊急小口資金39件745万円、総合支援資金23件、1,251万円の貸付に伴う相談対応を行いました。

■生活支援体制整備事業

いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けるために、介護予防の一環として地域のみなさんが開催するサロン活動の支援（開設・運営）や出前サロンの開催を行いました。

●介護保険・障害福祉事業

ホームヘルパーによる高齢者の自立した生活のお手伝いや、ケアマネジャーによる利用者の心身の状態、希望などにあった適切な在宅サービスが利用できるようなケアプランの提案により、介護を必要とする方の生活を支援しました。

また、障がい者の介護や家事などの日常生活や外出支援を行いました。

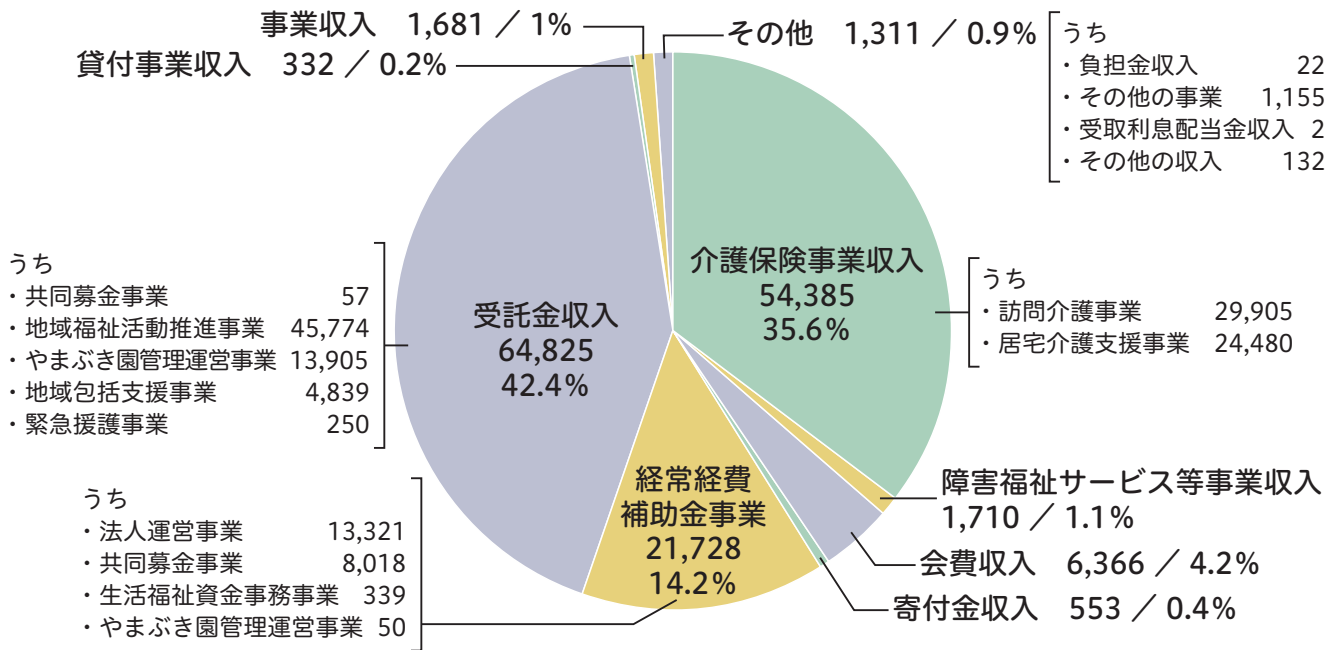




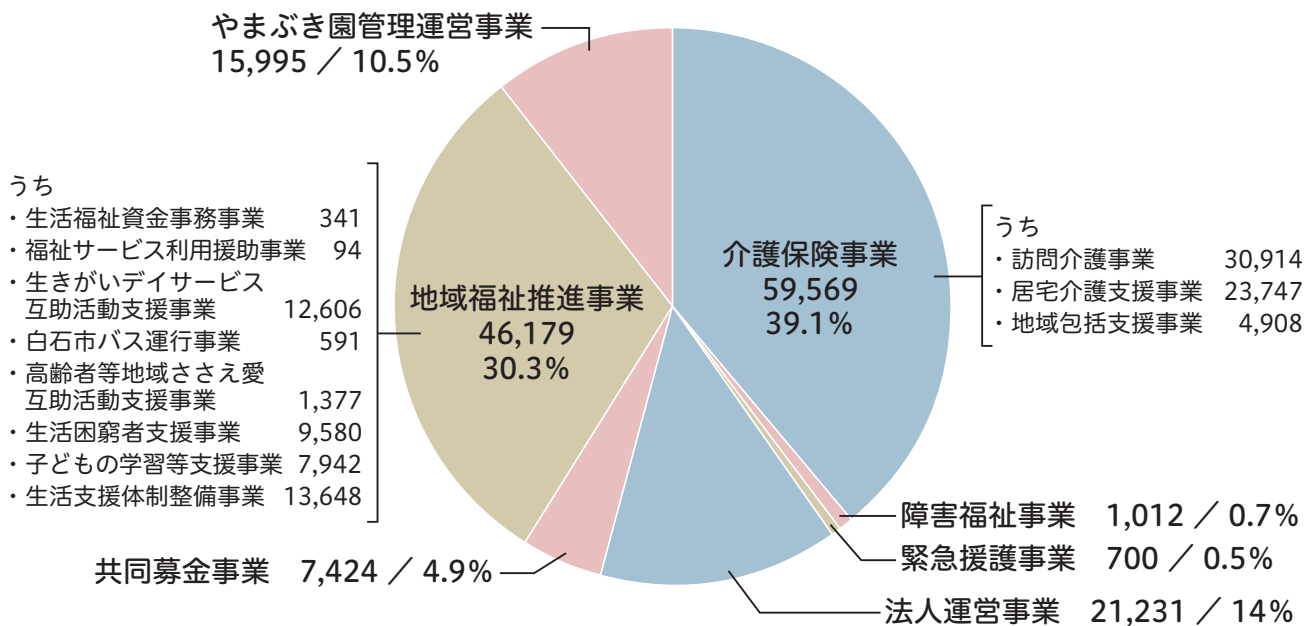
収 支 決 算

(単位：千円)

●収入総合計額 1億5,289万1千円



●支出総合計額 1億5,211万0千円



●繰越金 78万1千円

介護保険事業

居宅介護事業



● 介護支援専門員（ケアマネジャー）とは？

ご相談に応じて、心身の状態やご希望に添った適切な在宅サービスの利用ができるよう、市町村、サービス事業所、病院などとの連絡調整を行い、ケアプランを作成します。

対象者	市内在住の方で、要支援以上の介護認定を受けた方
内容	介護が必要になっても、住み慣れた自宅で日常生活が送れるよう、ケアマネジャーがご本人・ご家族の想いに寄り添い、お一人お一人のお体の状態や生活に合わせたケアプランを提供します。
費用	全額介護保険から給付されるため、自己負担はありません。

私たちがケアプランを作ります！

私たちにお任せください！！



訪問介護事業

可能な限り住み慣れた自宅で日常生活が送れるよう、ホームヘルパーがご自宅を訪問し、家事や調理・身体介助のお手伝いをさせていただきます。

● 訪問介護事業

対象者	市内在住の方で、要支援以上の介護認定を受けた方
内容	・身体介護…食事介助、入浴・清拭の介助、オムツ交換、排泄介助など ・生活支援…調理、洗濯、掃除、買い物など
費用	利用したサービス費用の1～3割が自己負担となります。



● やまびこサービス（介護保険外サービス）

対象者	高齢・障がい・疾病などがある方や、産前・産後（1年以内）の方にご利用いただけます。
内容	・介護保険の対象とはならないサービスで、日常生活に必要な介護や家事などをお手伝いします。 ※医療行為・車の運転・金銭管理などはお受けできません。
費用	1時間2,200円 30分増すごとに1,000円加算（消費税込み）

介護サービス利用の流れ

- ① 市役所に要介護認定の申請
- ▼
- ② 認定調査
- ▼
- ③ 主治医意見書
- ▼
- ④ 介護認定審査
- ▼
- ⑤ 認定結果通知
- ▼
- ⑥ ケアプラン作成
- ▼
- ⑦ サービスの利用
- ▼
- ⑧ 更新手続き



共同募金委員会だより

編集発行
白石市共同募金委員会
会長 紺野 澄雄

令和4年度 募金のご協力ありがとうございました (敬称略)

赤い羽根共同募金

ほんの小さなやさしさが広がる大きな支援の輪
【運動期間】

令和4年10月1日～12月31日

募 金 総 額

5,863,913円

■ 戸別募金 (白石市自治会連合会)

支部名	募金額	支部名	募金額
白石支部	3,043,150円	大鷹沢支部	312,950円
越河支部	246,950円	白川支部	256,300円
斎川支部	171,050円	福岡支部	1,157,750円
大平支部	395,525円	小原支部	137,500円
合 計		5,721,175円	

■ 学校募金

- ・白石第一小学校児童一同
- ・白石第二小学校児童一同
- ・大平小学校児童一同
- ・白川小学校児童一同
- ・福岡小学校児童一同
- ・小原学園児童生徒一同
- ・白石中学校生徒一同
- ・福岡中学校生徒一同
- ・白石高等学校生徒一同

合 計 48,656円

■ 職域募金

- ・白石市役所職員一同
- ・(社福)伯和会職員一同
- ・(社福)不忘会職員一同
- ・(社福)白石ひまわり職員一同
- ・(社福)白石市社会福祉協議会職員一同

合 計 38,973円

■ その他募金

- ・ハートフルベンダー
- ・ラ・ラファイン
- ・大鷹沢まちづくり振興協議会
- ・白川地区ボランティア友の会

合 計 55,109円



歳末たすけあい募金

つながり ささえあう みんなの地域づくり

【運動期間】

令和4年12月1日～12月31日

募 金 総 額

4,078,978円

■ 戸別募金 (白石市自治会連合会)

支部名	募金額	支部名	募金額
白石支部	2,090,540円	大鷹沢支部	216,220円
越河支部	170,620円	白川支部	177,080円
斎川支部	118,180円	福岡支部	799,900円
大平支部	276,015円	小原支部	95,000円
合 計		3,943,555円	

■ 街頭募金

- ・白石刈田仏教会

合 計 90,510円

■ その他募金

- ・白石友の会
- ・(株)岡崎工務店
- ・佐藤 進
- ・匿名

合 計 44,913円

■ 令和4年度歳末たすけあい配分事業実績額

歳末たすけあい募金収入	
令和3年度歳末たすけあい繰越金	558,069円
令和4年度歳末たすけあい募金	4,078,978円
合 計	4,637,047円

■ 歳末たすけあい配分事業額

ひとり暮らし高齢者(75歳以上)	700人	3,500,000円
ねたきり高齢者の介護者	34人	238,000円
要支援者	34世帯 54人	270,000円
配分諸経費		59,917円
合 計		4,067,917円

令和4年度歳末たすけあい繰越金 569,130円



令和5年度

— 白石市の福祉活動を支える —

赤い羽根・歳末たすけあい募金にご協力をお願いします

今年度も10月1日より、赤い羽根共同募金運動が始まります。
令和3年度に寄せられた赤い羽根共同募金のうち、331万3,616円を令和4年度の「ふれあいサロン」への助成や福祉への関心を高める「福祉体験学習」の支援などに活用させていただきました。
その他、宮城県共同募金会より大鷹沢防犯協会と白石市婦人会が“地域や社会を少しでも良くしよう”と頑張っている団体への助成を受けました。

令和4年度は次のような活動に役立てられました



【みんなで楽しく体操:あじさい】



【車イス体験:白石第一小学校】

その他

- 障害者福祉施設団体への助成
- 白石市ボランティア連絡協議会への支援
- 社協だよりの発行
- 社会福祉大会事業(3年1回)

など、地域のさまざまな活動に赤い羽根共同募金が活用されています。

生活支援コーディネーター紹介

令和5年4月1日～越河地区に生活支援コーディネーターが配置されました

みなさんこんにちは！越河地区生活支援コーディネーターの遠藤桂子えんどうけいこです。これから様々な活動に参加し、地域のみなさんとの交流の中で、色々な意見や状況を知っていき、お子さんから高齢者まで多世代のみなさんをつなげる活動のお手伝いをしていきたいです。また、お散歩や集いの場に活用して貰えるよう、「地域のお花畑マップ」も「つながる越河の会」のみなさんと共に作成していきます。



齋川地区の生活支援コーディネーターが代わりました

4月から前任の成澤一男なりさわかずおさんに代わり齋川地区生活支援コーディネーターに任命されました阿部さつきあべです。引き受けたものの、何をしたら良いのか、まだ手探りの状態です。

近所のおばさん、ばあちゃんとして、地域のみなさんとのかかわりを大切に活動していきたいです。どうぞ、よろしく願いたします。



地域活動紹介

いきいき体操クラブ（中益岡地区）

活動開始から今年で5年目。百歳体操で健康維持と増進を目指して継続しているいきいき体操クラブです。時折、気分を変えてレクリエーションを取り入れます。この日はマジックショーを楽しみました。体操の後はみんなで丸くなってお茶のみします。おしゃべりに花が咲く、和気あいあいのサロンです。



手品を披露する佐藤謙五さとうけんごさん

みどりの会（小原 赤井畑地区）

平成19年に大熊で火事があり、炊き出しをしたお礼に自治会から1万円をいただき、みんなで美味しい物でもたべようか！とお寿司を食べたのが会のはじまり。「サロン」という言葉ができる前から、みんなでお金を出し合って集まってお茶っこを楽しんできたみどりの会。今も変わらず集う老舗のサロンです。





誰でも

気軽に

楽しく



小学生からの生活・学習を応援します！

昨年度から開始された小学校入学応援事業では、令和5年度も小学校1年生に就学支援品として、目覚まし時計185個を贈呈し、4月11日（火）に行われた大鷹沢小学校の入学式では、あきくらひでお朝倉秀雄会長から贈呈をしました。



白石市ボランティア連絡協議会研修会

6月27日（火）「白石市ボランティア連絡協議会研修会～健康いきいき体操～」が開催され、34名が参加しました。巨泉猛介こいずみたけし護予防運動指導員による笑い溢れる介護予防運動を楽しみました。

※白石市ボランティア連絡協議会とは、市内のボランティア団体が情報交換や親睦を図るとともに、ボランティアの輪を広げ、地域の助け合いの力（福祉力）を高めていくことを目的に活動しています。



高齢者等地域ささえ愛互助活動 移動支援サービス

単独で移動が難しい高齢者等に対して、地域のボランティアが通院や買い物の際の送迎を行う、登録制の有償ボランティアサービスを行っています。

利用できる方

市内に居住する高齢者等で、下記すべてに該当する方

- 要支援以上の認定もしくは身体障害者手帳を所持
- 非課税世帯かつ本人の前年収入が155万円未満

※令和5年4月1日から、前年収入の要件が98万円未満から155万円未満に変更になりました。

利用時間などの詳細につきましては、白石市社会福祉協議会までお問い合わせください。



地域福祉活動計画策定について…地域担当制を設けました

当会では、各地区のみなさんと一緒に地域の福祉課題を取りまとめ、第1次白石市地域福祉活動計画を策定しました。計画の一環として、各地区と社協との関係性を築き職員の見える化を図るため、今年度より地域担当制を設けましたので、福祉課題の相談先がわからないときなどお気軽に相談してください。

地区	担当者	地区	担当者	地区	担当者
白石	菅原主事	大平	菅原主事	福岡	佐藤係長
越河	加藤次長	大鷹沢	菊池係長	深谷	菊池係長
斎川	佐藤係長	白川	加藤次長	小原	山家主事



お知らせ

24時間テレビ46「愛は地球を救う」チャリティ募金活動を実施します！

8月26日（土）9：30～15：00まで、セラビ白石店にて、中高生ボランティアによる24時間テレビ46「愛は地球を救う」チャリティ募金活動を実施します。規模を縮小しての開催ですので、グッズ等の販売はございませんが、みなさんの温かい募金をお待ちしております。ご協力、よろしくお願いいたします。



平成30年度の活動風景

令和5年度 ひとり暮らし高齢者の集い（みんなで元気になりましょう）

- 日時・場所／10月13日（金） 午前10時から 中央公民館 大ホール
 - 対象者／ひとり暮らし高齢者（70歳以上） ■内容／大友^{おおとも}^{どうざん}氏（尺八でなじみの曲を演奏）
- 8月中に対象者にお知らせ致します。お知らせが届かない場合には、ご連絡ください。

みみサポみやぎ主催イベントのご案内

参加費 無料 申込 不要

●難聴者等トータルコミュニケーション教室（要約筆記が付きます）

聞こえが悪くなると、日常生活のコミュニケーションをはじめ様々な面で困ることが出てきます。補聴器購入の前の確認や購入後のリハビリについて知り、生活の質を向上させましょう。

- 日時・場所／8月26日（土）13：30～15：30 中央公民館2階 第2研修室
- 内 容／講話「聞こえにくくなったら…（講師：東北文化学園大学教授／宮城県言語聴覚士会^{だまどうひかる} 高卓輝氏）」、参加者同士の交流・情報交換など

●聴覚障害者のための「みみサポサロン」（手話通訳・要約筆記が付きます）

- 日時・場所／9月23日（土）13：30～15：30 中央公民館2階 第2研修室
 - 内 容／サイコロトーク、聴覚障害に関する相談（予約優先、筆談・手話対応可）
- 両日とも聞こえない方、聞こえにくい方、ご家族や友人など、どなたでも参加できます。

お問い合わせ 宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）

TEL：022(393)5501 FAX：022(393)5502 Mail：info@mimisuppo-miyagi.org



あたたかい 善意 ありがとうございます

福祉に活用してほしいと、みなさんから温かい善意が寄せられました。

◆ご寄付の御礼

- 一般社団法人アクティブサポート（株）フローラ様 200,000円
 - 匿名希望様 玄米30Kg・10,000円
 - ジャパングルフツアー選手会 福祉車両1台
 - 匿名希望様 25,000円
- ※いただいたお米等はフードバンク事業に活用しています。



◆自動販売機売り上げの一部が寄付され、地域福祉に充てられます。

- トーカドエナジー（株）白石工場様 7,069円
 - 東北電力ネットワーク（株）白石電力センター様 4,214円
- （令和5年3月1日～令和5年5月31日）



社会福祉法人 白石市社会福祉協議会

〒989-0231 宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1
（白石市総合福祉センター内）
TEL：0224-22-5210 FAX：0224-22-1571
生活総合相談：0224-22-2130



- E-mail：info@shiroishi-shakyo.jp
- 白石市社協ホームページ <https://shiroishi-shakyo.jp/>
- 公式 Facebook もぜひご覧ください。 [Qしろいし社協 検索](#)

